

加入促進に向け歴史を再確認 共済運動の推進に向け意思統一

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 10月1日 各分会大会
- 10月9日 執行委員会
- 10月12日 全国共済理事会
(東京都)
- 10月15日 執行委員会
- 10月16日 人事院交渉
- 10月18日 全国代表者会議
- 10月24日 全山労宮崎定期大会
- 10月25日 第4回役員推薦委員会

9月6日から7日にかけて、熊本市において、2024共済推進会議が開催され、林野労組各分会、林退会各支部、全山労から担当者総勢34名が参加、共済運動の推進に向けて全体で意思統一しました。



多くの担当者が結集し、今後に向けた議論が行われる

会議では、冒頭、主催者の加藤九州森林労連執行委員長が共済の歴史について話があった後に「共済については、組合員同士の助け合いにより成り立っている。現在は高齢化による減少や、現職の組合員の脱退による

減少、また、新規加入が伸び悩んでいるなど厳しい状況が続いているが、組合員同士の助け合い、相互扶助の精神のもと、森林労連共済の加入促進に御理解を頂きたい。担当者任せとせず、全体での協力体制を作り、今後

2023年度推進活動状況お

共済運動に取り組んで頂きたい」と挨拶。次に来賓の木村九州地方林退会事務局局長から挨拶を受け、会議には森林労連共済推進本部から鳴川常任代表委員をはじめ3名が出席し、議事に入りました。

まず、鳴川常任代表委員から挨拶を受けると共に、共済推進本部より「2023年度推進活動の総括」「2025年1月契約更改の取り組みおよび2024年度推進活動」「住まいる共済制度改定」「2025年契約更改の事務処理」について、説明等があり、住まいる共済、加入上限年齢、個人賠償責任共済の付帯、マイカー共済アンケート等について意見が出されました。その後、優秀分会・支部表彰では、「林野労組都城分会」が選出され、鳴川常任代表委員より表彰状が授与され、初日が終了しました。

2日目に入り、「地方推進方針・推進目標・活動計画」について、古村代表委員より



共済の歴史を語る加藤委員長

よび契約更改」「退職予定者及び退職後の対策における加入促進」「林野労組新規採用組合員を含む若年層に対する加入促進」「共済オルグの実施」等を提起、迫口森林労連業務担当職員より「自賠責共済の取り組み方針と加入目標について」を説明し、九州の現状を全体で認識

全体的な質疑では、自賠責に係る林退会としての対応や今後の推進体制における実情等の活発な意見が出されました。

最後に、2025年1月契約更改や、共済運動の推進に向けて全体で意思統一を図り、2024年度の共済推進会議は閉会しました。



最優秀分会の表彰を受けた都城分会の河本委員長（左）

冒頭、後藤執行委員長は、「新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、4年ぶりに青年女性委員会によるピアーティーの開催や九州地本

9月19日15時30分から2階大会議室において、第20回九州森林管理局分会定期大会を開催し、組合員46名（委任状34名）が参加しました。

大会は、議長団に3階班森林整備課の濱田代議員、5階班計画課の濱本代議員を選出し、議事が進められました。

冒頭、後藤執行委員長は、「新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、4年ぶりに青年女性委員会によるピアーティーの開催や九州地本



連携を呼びかける後藤委員長

分会大会が続々と開催される

レクリエーションへの参加など集まる場が増えてきている。職場では、定年延長後の7割給与など諸課題の解決に向けて一人の要求をみんなの要求として処遇改善に向けて全力で取り組みたい」とあいさつ。

その後、来賓として九州地本加藤執行委員長や熊本県議会議田議員などよりあいさつ、及び熊本分会より届いたメッセージが披露されました。

引き続き分会執行部より2023年度活動報告、2023年度会計監査報告、2024年度活動方針（案）、2024年度予算（案）が提案され、満場一致で可決・承認されました。

その後、役員改選を行い、大会スローガン、大会宣言が採択されました。

最後に、2期目を迎える後藤執行委員長による団結ガンバローで大会を終りました。

匠の腕

「大草原を瑠璃色に彩るヒゴタイ」
(撮影者 塩崎暢彦：熊本分会)

「匠の一言」
阿蘇を代表する花で、球状で瑠璃色の花がとても綺麗です。

9月末、ある裁判が行われ、無罪判決が出された。

有罪として半世紀の50年近く勾留されていたというが、定年前の職員でも幼い頃からであり、その長さは想像出来ない程だ。無罪となったこの方は、当時ボクシング引退後であり「ボクサー崩れ」と言われ、疑いも強められたと書いてあるのを見た。引退した人全ても筆名もボクサー崩れだ。昔は「あ〇たのジョー」のように腕の強いのイメージがあったのか。しかし、日本人初の世界チャンピオンと同じ世代で、技巧派であり、防御の技術は素晴らしい。ボクシングはパンチを振り回すだけでは勝てない。相手を倒すために一日何百、何千と様々なパンチを練習している。その技術は職人であるといえるだろう。今後ともボクサーであったことに誇りを持つてもらいたい。

(SUKU)

第50回衆院選推薦候補者一覧(九州地本)

10/1現在

Table with 5 columns: 県, 選挙区, 候補者, 政党, 連合推薦. Lists candidates for the 50th general election across various prefectures like Fukuoka, Saga, Nagasaki, etc.

※10月1日現在のため、追加となる場合もあります。

分会の取組強化をお願いします。

推薦候補者等の必勝に向け取組の前進を!

第50回衆議院議員選挙

冒頭、委員長から「能登半島を襲った最大震度7の地震や8月8日の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震など自然の驚異的な災害は、今やどこで起きてもおかしくない状況であり、これまでの災害を教訓に被害の軽減に向けた減災の取組の強化が重要です。このようなか、数の力を背景に迷走する

岸田政権が異常な政治運営を推し進めており、こうした国会、国民を軽視した自民政権の暴走を食い止めるため、各級選挙で勝利し引き続き憲法改悪阻止や働く者の生命と権利を守る多くの課題に対し、全力で取り組んでいかなければなりません。国有林野事業においては、賃金や各種手当の問題、組織要員問題、業務上の事務の混乱、現場管理機能の強化など労働条件等の課題はまだ数多く残っており、分会交渉においても各課題や実態改善に向け取り組みを進めてきましたが、不十分な結果となつています。今後も粘り強く課題解消に向けた交渉等の積み上げなど、取り組みを進めていかなければなりません。若手組合員、再任用組合員、そして数少ないバリバリの中間層の組合員すべて大事にしながら、誰一人離脱することなく、全組合員が一致団結した一枚岩となつた

運動を展開していきたいと思つています。本大会において、これからの運動の取り組みに対する活発な議論をお願いします。」とあいさつ。来賓からは、歌野地本執行委員はじめ、岡下連合地協事務局長、野間衆議院議員、九州労働金庫川内支店中崎様、薩摩川内市議会議員立候補予定の屋久様が出席され、連帯と激励のご挨拶を頂きました。議事では、2023年度経過と総括及び2024年度運動方針などについて提案し、組合員の賛成多数で決定しました。役員改選では、新たに中村健一執行委員が加わり、新執行体制となりました。最後に白内委員長の音頭で、組合員全員による団結ガンパローを行い、今大会を終了しました。

冒頭、坂本執行委員長より「小規模の分会であり、活動の大きな前進は難しいところがある。4月から三役のみの体制となつており、ご迷惑をお掛けしているところがあるかと思う。



北薩分会

冒頭、坂本執行委員長より「小規模の分会であり、活動の大きな前進は難しいところがある。4月から三役のみの体制となつており、ご迷惑をお掛けしているところがあるかと思う。



沖縄分会

Advertisement for Premium定期預金 (Premium Regular Savings) with a 0.40% interest rate. Includes QR code and terms.

昨年度は、管理者姿勢の問題による窓口閉鎖もあった。現在は改善されているが、今後も目は光らせていきたい。本大会での活発な意見を願いたい」と挨拶がありました。



都城分会

冒頭、河本執行委員長から「私たちを取り巻く環境は、日々変化し苦しい状況が続いている。より団結を深め活動していくことが必要である。重ね重ねになるが、活発な議論をお願いします」と挨拶がありました。

あのことんこん

「魔の総務グループへようこそ」

濱田 大地さん(大隅分会)



日々トライアングルに囲まれる!(下段が濱田さん)

大隅分会から紹介するのは、この1年でメキメキと成長を遂げた濱ちゃんこと「濱田大地さん」を紹介いたします。濱ちゃんは熊本県出身で熊本県立若北高校を卒業後、令和5年4月に大隅森林管理署に採用されました。管理担当として入林許可や貸付等の外部対応を担っており、上司の厳しい指導の下、日々一生懸命に業務に取り組んでいます。そんな真面目な濱ちゃんに悪戯しようと思ったのは、昨年プロック交流会のボウリングや地本レクのミニバレーに参加した際に、「楽しかったです。また、やりたいです!!」ととても嬉しそうに言ってくれて、こちらまで幸せな気持ちになりました。大隅で社会の厳しさや楽しさを学びまだまだ成長途中の濱ちゃんには、若い力で失敗を恐れず何事も挑戦し、活躍してもらいたいです!

(おことわり) 今回の第224号で掲載出来なかつた分会大会記事については次号で掲載いたします。

組合員の皆様へ 林野労組ではホームページを活用した取組を行っております。改めて文書を発出する予定としておりますので登録をお願いいたします。